



## 総務大臣 祝辞



総務大臣 たけだ 武田 りょうた 良太

一般財団法人日本ITU協会の創立50周年に心からお祝いを申し上げます。

また、50周年というこの大きな節目に、名誉ある賞を受賞される皆様は、これまでITUの活動を通じて、世界の情報通信及び放送分野の発展に顕著な貢献をされてこられたと伺っております。これまでの皆様の取組みに対して、改めて感謝の意を表します。

日本ITU協会は、1971年9月1日に創立され、以来50年、電気通信及び放送分野における国際電気通信連合（ITU）やアジア・太平洋電気通信共同体（APT）等の各種活動に対応して、日本と世界とを結ぶ役割を担ってこられました。この50年を振り返りますと、オイルショック、プラザ合意後の円高、バブル崩壊、アジア通貨危機、リーマンショックや東日本大震災など、経済及び社会の厳しい環境変化もありましたが、一方では、様々な分野で新たなサービスやビジネスが登場・普及するとともに、世の中の仕組みや人々のマインド・行動様式は大きく変化してまいりました。その大きな要因の一つとして、インターネットや携帯電話を中心とするICTの進化があります。

貴協会会員の皆様は、通信放送に係る重要な社会インフラ設備や幅広い産業へサービスを提供する重要な産業の担い手として、時代の変化に機動的に対応しながら活発な事業活動を展開され、社会基盤と産業基盤の整備に多大な貢献を残されました。

さて、我が国や世界が直面する新型コロナウイルス感染症の流行を契機として、ICTは、より一層人間の生存や経済活動の維持に必要な不可欠な技術と認識されるようになりました。これまでデジタル化が進まなかった領域にもデジタル化の波が押し寄せています。また、デジタル化・リモート化を最大限に活用することにより、個人、産業、社会と

いったあらゆるレベルにおいて変革が生まれ、新たな価値の創造へとつながっていくことも指摘されています。こうしたデジタル化に対する世界的なニーズは高まるばかりです。例えば、2020年3月に日本での商用サービスが始まった5Gについて、世界各国の契約数は急激に伸びており、今後の全世界における5Gサービスの市場規模は、2025年には70兆円を超え、2030年には150兆円を超えるとの予測もあります。

総務省では、世界のデジタル変革への貢献に向け、5G、光海底ケーブルなどのインフラシステムの海外展開を図るとともに、AIの利用やデータの流通に関する国際的な共通認識の醸成を進めています。また、ポストコロナを見据えた産業競争力の向上に向け、5Gのその先である「Beyond 5G」を見据えた技術開発に、官民の英知を結集して取り組んでいます。さらに、知的財産の獲得や研究開発の国際標準化を戦略的に進めています。これらの取組みを通して、グローバル市場で戦い、また、ITU等の国際的な舞台で活動される皆様の後押ししてゆきます。

こうした中で、貴協会会員の皆様の御活躍が期待される領域は広く、最新の技術や知見を取り入れつつ、新たな価値の創出や事業変革を成し遂げることが求められています。今後とも、貴協会のリーダーシップの下、一層の御尽力を頂くことを期待しています。

最後になりますが、今回の創立50周年を記念して受賞された皆様のご功績に対して心から敬意を表するとともに、日本ITU協会及びその活動を支える会員の皆様、そして日本の情報通信業界の一層の発展を心から祈念をして、お祝いの言葉とさせていただきます。創立50周年、誠にありがとうございます。